

## 学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

## 総合学科

### 笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

### 1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

### 2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

### 3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

### 学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	地理歴史	地理A	
3	理科	生物基礎	
4	保健体育	体育	
5	保健体育	保健	
6	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
7	芸術	音楽 I	選択 1
8	芸術	美術 I	選択 1
9	芸術	書道 I	選択 1
10	国語	国語表現	選択 2
11	数学	数学Ⅱ	選択 2
12	外国語	英語理解	選択 2
13	芸術	クラフトデザイン	選択 2
14	家庭	服飾手芸	選択 2
15	商業	ビジネスマナー	選択 2

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	国語 現代文B	単位	2	履修区分	必履修 ・必修 ・選択
対象学年・類型・コース	2年 普通科・総合学科				
使用教科書	『新編 現代文B』教育出版（現B328）				
副教材	カラー版 新国語便覧（第一学習社）				
目標とする生徒の将来像	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ②【話す・聞く能力】目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ③【書く能力】相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ④【読む能力】文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ⑤【知識・理解】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考査含	自己評価
1 学 期	第1回定期試験 5/21～	・セレンディピティ	・日常のささいなことに目を向け、自分の関心の幅を広げる ・自分の考えが的確に伝わるよう工夫する力（構成・文体など）	④ノート・発言 ③作文 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験 7/3～	・ゲラダヒビの平和社会 ・現代の俳句・短歌	・科学的な文章から筆者の主張を正確に読み取る力 ・日本の伝統文化としての俳句や短歌を鑑賞し、独自の技法を学ぶ ・ことばや表現から作品世界を深める想像力	④ノート・発言 ⑤音読 ③短歌・俳句作品 ④テスト ②グループワーク ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C A B C A B C
2 学 期	第3回定期試験 10/2～	・山月記	・作品に込められた寓意を受け取り、自身の問題として捉え直す姿勢 ・漢文的な表現を理解し、味わう力	①授業態度の観察等 ③作文 ②相互評価 ④プリント・テスト	A B C A B C A B C A B C
	第4回定期試験 12/4～	・かんじんなことは、目に見えない? ・菊	・学術的な文章に触れ、多様な表現を学ぶ。 ・恋愛という主題を通して、自分の生き方を見つめ直す姿勢	⑤音読・小テスト ④プリント・テスト ②グループワーク ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C
3 学 期	第5回定期試験 2/22～	・ミロのヴィーナス	・抽象的な言葉が何を指しているのか読み取る力 ・論理的な文章の構成を学び、自分の文章も筋道を立てて書くことができる	④ノート・発言 ②発表 ④テスト ③小論文 ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C A B C A B C
	検定資格（時期）	漢字能力検定を年に3回、校内で受検できる機会を用意する。（8月・12月・2月）受検費用は級に応じて2000～4000円）2級に合格した場合は「国語総合」に1単位増算できる。			
履修にあたって	1年次で習得した知識や考え方をもとにして、就職試験から大学入試まで幅広く対応する思考力・読解力の養成を目指す。国語は暗記科目ではない。常に自分の頭で考える姿勢を持つほしい。今年度も漢字テストを行うので、丁寧に、投げ出さず、全回合格を！				

## 教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	地理歴史・地理A	単位数	2	必履修	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
学年・系列・コース	2年 普通科(選択)・食品化学科(選択)・果樹園芸科(選択)・総合学科				
使用教科書	高等学校新地理A・新詳高等地図	副教材	なし		
目標とする生徒の将来像	現代世界の抱えるさまざまな課題を地理的に考察・探求し、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。				

評価の観点	①授業中の関心・意欲・態度、発問に対する思考・判断(10%) ②まとめプリントやノートの作業・整理状況などの表現・処理(10%) ③定期考査による知識・理解(80%)
-------	---

学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力	評価の観点
1 学期	1部 ・1章 地球儀や地図からとらえる現代社会  1節 地球上の位置と国家 2節 グローバル化が進む世界  ・2章 人間生活を取り巻く環境  1節 生活に影響を与える環境条件とは 2節 人々の生活と地形 3節 人々の生活と気候	・地球の運動と時差について理解できる。 ・グラフや地図等を作成し、世界の結びつきの変化を理解する。 ・球面上の世界観から世界の諸地域をとらえることができる。 ・自然環境と人間生活の関係について理解する。 ・大自然の地域と都市との環境の違いについて理解する。 ・地形からどのような特徴が読みとれるか理解し、防災 対策まで考える。 ・気候の特徴を学習し、どのように気候が生活に影響しているか 理解し、食事や住居の特徴について考える。	①②③
2 学期	4節 人々の生活と産業 5節 人々の生活と文化  ・3章 世界の諸地域の生活・文化  1節 中国の生活・文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 インドの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化 7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アメリカ合衆国の生活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化	・異文化を理解する目を養う。 ・各国の産業・生活・文化について理解する。 ・それぞれの国の産業の変化についての要因について考えることができる。 ・多民族・多文化の共生の行われている地域についての諸問題について理解できる。 ・隣国の人々の生活・文化について理解できる。 ・隣国との交流や歴史についてさまざまな側面から考えることができる。	①②③
3 学期	4章 地球的課題と私たち  1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題 3節 世界の資源・エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市・居住問題  2部 1章 身近にあるさまざまな地図 2章 日本の自然環境と防災 3章 身近な地域の課題と地域調査	・地球規模で発生しているさまざまな課題の解決策や対応方法を理解できる。 ・主に先進国で発生する課題と発展途上国で発生する課題の共通点や相違点、それらの影響について理解できる。 ・環境破壊が私たちの生活にどのような影響を与えるかを考えることができる。 ・環境問題の解決のために我々ができることを考え、実行するためにはどうするのか理解する。	①②③
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし		
履修にあたって	日頃から国内外の情勢に興味を持ち、知らない場所ができたらすぐに地図帳を開く習慣を身につけよう。それだけで世界に対する意識は変わるはずです。また、私たちが生きる地域や世界に広く興味を持ち、よりよい生活を送るためにどうしたらよいかを考えよう。授業では、白地図作業があるので、色鉛筆を準備しておこう。		

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	理科 生物基礎	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	2年 総合学科						
使用教科書	『改訂 生物基礎』東京書籍（生基311）						
副教材							
目標とする生徒の将来像	遺伝子・健康・環境など、日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。						
評価の観点	①【関心・意欲・態度】生物や生物現象について関心をもち、意欲的に考えるとともに、科学的な見方や考え方を身につける。 ②【思考・判断・表現】生物や生物現象を科学的に考え、的確に説明する。 ③【観察・実験の技能】生物や生物現象について観察・実験の基本操作を習得する。 ④【知識・理解】生物や生物現象について、基本的な知識を身につける。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法 ※テスト=定期考查含	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験	・生物の多様性と共通性 ・生命活動とエネルギー	・生物の基本単位は細胞であること、 ・生命活動に必要なエネルギーはATPの化学エネルギー。 ・代謝には酵素が関与している。 ・光合成は、光エネルギーを化学エネルギーに変換する過程である。 ・呼吸は、化学エネルギーをATPの化学エネルギーに変換する過程である。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート (酵素の実験) (細胞の観察)	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験	・生物と遺伝子	・遺伝子の本体がDNAであること。 ・DNAはヌクレオチドがつながった高分子化合物で、その構造が二重らせん構造である。 ・DNAの塩基配列が遺伝情報をなっている。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート (DNAの抽出実験) (体細胞分裂)	A B C A B C A B C A B C		
2 学 期	第3回定期試験	・遺伝情報の分配	・体細胞分裂の過程において遺伝情報が均等に分配されること。 ・細胞周期の過程。				
	第4回定期試験	・遺伝情報とタンパク質の合成	・DNAの遺伝情報がRNAに移され(転写)、RNAの塩基配列がタンパク質のアミノ酸配列に変換されること(翻訳)。 ・すべての体細胞は同じゲノムを持っているが、細胞ごとに異なる遺伝子が発現することで細胞の分化が生じること。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等	A B C A B C A B C		
	第5回定期試験	・体内環境	・体内環境が一定に保たれている仕組み。 ・肝臓や腎臓のつくりやはたらきを学び、体内環境を維持していることを理解する。	①②④ノート・発言 ④テスト ①授業態度の観察等 ②③実験レポート (交感神経のはたらきを調べる)			
	検定資格(時期)						
	履修にあたって	授業で指示された問題は必ず解けるようにする。 「なぜ?」という疑問は持ち続け、自分で調べる。 問題集の問題は、完全に理解できるまで繰り返し解く。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	保健体育・体育	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科						
使用教科書	なし						
目標とする生徒の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間やルールを厳守し、率先して与えられた役割を確実にこなそうとする、責任感のある生徒。</li> <li>運動の技能や知識を身につけ、高めていくために努力を継続することができる生徒。</li> <li>積極的に活動に参加し、自己表現や他者への配慮などのコミュニケーションをとろうとする、信頼できる生徒。</li> </ul>						
評価の観点	<p>①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。</p> <p>②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。</p> <p>③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が發揮できているか。</p> <p>④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。</p>						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学 期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>体つくり運動（体力を高める運動、集合、整頓、列の増減、集団としての行動）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な運動能力を身につける</li> <li>大きな声を出すとともに、迅速に集団としての協調的な動きができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> <li>④観察</li> </ul>	A B C	A B C	A B C
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボール（男子）</li> <li>バレー（女子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> <li>④ワークシート</li> </ul>	A B C	A B C	A B C
2 学 期	第3回定期試験	・ペース走	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適したペースを維持して走ったり、ペースの変化に対応して走ったりする。徐々に記録を向上させる努力をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> <li>④ワークシート</li> </ul>	A B C	A B C	A B C
	第4回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>体つくり運動（体力を高める運動、体ほぐしの運動）</li> <li>バスケ（男子）</li> <li>サッカー（女子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体つくり運動</li> <li>体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力向上をはかる。</li> <li>バスケ、サッカー</li> <li>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> <li>④ワークシート</li> </ul>	A B C	A B C	A B C
3 学 期	第5回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケ（男子）</li> <li>サッカー（女子）</li> <li>体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケ、サッカー</li> <li>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できる。</li> <li>体育理論</li> <li>生涯豊かなスポーツライフを送る上で必要となるスポーツに関する科学的知識を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観察</li> <li>②観察</li> <li>③テスト</li> <li>④ワークシート</li> </ul>	A B C	A B C	A B C
	検定資格（時期）	なし					
諸費用（予定）							
履修にあたって	チャイム前には整列をし、大きな声で挨拶・体操をするところから体育の授業は始まります。お互いに100%で授業に臨みましょう。						

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	コミュニケーション英語II	単位	3	履修区分	履修
対象学年・類型・コース	2年総合学科				
使用教科書	New Flag English Communication II				
目標とする生徒の将来像	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うと共に、論理的な思考力を養い、論理的展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。				
評価の観点	① 定期試験 ② 授業内小テスト ③ 授業活動への参加状況 ④ 提出物				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学 期	第1回定期試験	Chapter1 Sakura Michi	・本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト	
	第2回定期試験	Chapter 2 Learning English Chapter 3 Interview with Rosa Parks	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト	
2 学 期	第3回定期試験	Chapter4 Communication Breakdown Chapter5 Rise Again, Motala!	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト	
	第4回定期試験	Chapter6 A Delicious Japanese Culture : Bento Chapter7 Palme Oil from Diamond Island	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト	
3 学 期	第5回定期試験	Chapter8 I Made It! Chapter9 If I Hadn't Met...	本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めることができる。扱われている文法項目を理解し、自分で表現できる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・提出物 ・授業内小テスト	
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	実用英語技能検定 年間3回（6月、10月、1月） 3級（3400円）、準2級（4800円）、2級（5400円）			
	履修にあたって	・毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。			

教科・科目	芸術 音楽 I	単位数	2			
学年・系列・コース	普通科・農業科 1 学年 総合学科 2 学年					
使用教科書	MOUSA 1 教育芸術社	副教材	ミュージック・ノート			
目標とする生徒の将来像	音楽 I では、生涯にわたって音楽に親しんでいくための基盤となる力を育てたい。そのために第一は、音楽の授業において自ら学ぶ態度と方法を身につけることを目指す。第二に、自分の知る曲や興味のあるアーティストだけではなく、世界の様々な音楽に親しませ、広い音楽的視野を身につけさせることを目指す。					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。</li> <li>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもつている。</li> <li>創意工夫を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。</li> <li>音楽の基本的な知識を理解し、音楽表現の向上に結びつける。</li> </ul>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法		
1 学期	4	校歌 やさしさに包まれ たなら 少年時代	様々な表現方法による歌唱活動に関心を持ち演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組む。	校歌(詩)をノートに写し提出		
	5	バロックまでの音楽 グレゴリオ聖歌 合奏 協奏曲ほか	様々な時代の音楽や作曲家の特徴、楽器の音色等表現上の効果に関心を持ち、その文化的・歴史的背景を踏まえて鑑賞することに主体的に取り組む。	鑑賞の記録		
	6	音符と休符 音名と譜表	音楽の基本的知識について理解し、音楽表現の興味に結びつける。	筆記試験		
	7	三味線 さくらさくら お江戸日本橋 イタリア歌曲 Caro mio ben O sole mio	三味線の音色や奏法の特徴を生かして、技能を身につけ表現を工夫する。  曲想と歌詞の内容、楽曲の背景と関わらせて、イメージを持って音楽表現するために、必要な歌唱技能を身につけ、創造的に表現する。	実技試験		
2 学期	9	日本の歌から 故郷 この道ほか	曲想と歌詞の内容、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、それらを生かして歌うことができる。	発表		
	10	古典派の音楽 モーツアルト作品	様々な時代の音楽や作曲家と、その文化的・歴史的な背景を踏まえて鑑賞する	鑑賞の記録		
	11	音名、演奏の形態 楽典	音楽の基本的知識について理解し、音楽表現の向上に結びつける。	筆記試験		
	12	合奏 リコーダーほか	各楽器の音色や奏法の特徴を生かし、仲間と協調性や積極性を持ち、完成度の高い音楽表現を工夫する。	発表		
	月					
3 学期		ドイツ・リート 野ばら リズム テキスト ロマン派以降の音楽 シューベルト作品	曲想と歌詞の内容、楽曲の背景と関わりに関心をもち、それらを生かして歌うことができる。  音楽を形作っている要素に興味をもち、理解・表現することができる。  様々な時代の音楽や作曲家と、その文化的・歴史的な背景を踏まえて鑑賞する。	実技試験 実技試験		
	履修にあたって	○音楽を形づくっている要素が楽曲を特徴づけるのにどのような役割をしているかを、創作や鑑賞活動を通して理解する。				
諸費用 : 500 円 ファイル・実技準備費	○実技体験を通して、表現の向上や意欲を培う。					

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

## 教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	芸術 書道 I	単位数	2			
学年・系列・コース	普通科・農業科1学年 総合学科2学年					
使用教科書	書 I 光村図書	副教材				
目標とする生徒の将来像	生涯にわたって芸術を愛好する心情を育む。書道の様々な活動を通して、生活に根ざした「書」を意識し、実用的な書を身につけることで、芸術的な能力を伸ばす。					
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>自発的な意図から作品の効果を高める工夫をし、取り組む。また、意欲的・主体的に活動を行い構想から完成までの充実感や表現する喜びを味わおうとする。</li> <li>基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を把握している。</li> <li>意図に基づく表現の構想と工夫がされている。</li> </ul>					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法		
1 学期	4	書へのいざない 「書道の世界へ」	<input type="checkbox"/> 書写と書道の違いを理解できているか。 <input type="checkbox"/> 文房四宝の役割を理解しているか。 <input type="checkbox"/> 紙面の空間・墨量を意識できているか。 <input type="checkbox"/> 古典の臨書学習により基本的な点画や線質の表し方、執筆法・運筆法を学ぶ。 <input type="checkbox"/> それぞれの作品の特徴・時代・人物を区別できているか。 <input type="checkbox"/> 筆使いがしっかりと理解できているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物(名前カード)		
	5	漢字の書の学習 「漢字の書の世界へ」	<input type="checkbox"/> 紙面への工夫が凝らされているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物(名前カード・作品)		
	6	「楷書の古典を学ぼう」		<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物 (名前カード・作品・相互評価プリント)		
	7					
2 学期	9	漢字の書の学習 「書道パフォーマンスとは」	<input type="checkbox"/> 行書の筆法・くずし方を理解しているか。 <input type="checkbox"/> 古典の鑑賞により多様な表現方法・字形の崩し方を理解しているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物 (名前カード・作品)		
	10	「行書の古典に学ぼう」	<input type="checkbox"/> 楷書との入筆の違いを理解しているか。 <input type="checkbox"/> 筆順を理解しているか。 <input type="checkbox"/> それぞれの古典の特徴・時代・人物について理解しているか。 <input type="checkbox"/> 事前の準備がしっかりとされているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物 (名前カード・作品・相互評価)		
	11	「半切創作作品制作」	<input type="checkbox"/> 紙面への工夫が凝らされているか。 <input type="checkbox"/> 学んだ用筆法がしっかりと使われているか。 <input type="checkbox"/> 紙面に対しての構成が工夫されているか。			
	12	生活の書 「くらしの中の書」 篆刻の学習	<input type="checkbox"/> プリント課題への取り組み。 <input type="checkbox"/> 落款について、その用途・効果について理解しているか。 <input type="checkbox"/> 篆刻の形状にあうものを制作できているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度 <input type="checkbox"/> 提出物(名前カード・作品・発表・相互評価プリント) <input type="checkbox"/> 参加状況・態度・提出物 (名前カード・作品)		
3 学期	1	仮名の書の学習 「仮名の基本・いろは歌・高野切第一種を学ぶ」	<input type="checkbox"/> 成立や種類について理解しているか。 <input type="checkbox"/> 仮名の線、運筆について理解しているか。 <input type="checkbox"/> 古筆の表現方法を学習し、空間の使い方、文字の大小について理解しているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度・提出物 (名前カード・作品・ペーパーテスト)		
	2	漢字仮名交じりの書	<input type="checkbox"/> これまでに身に付けた筆法・表現方法を生かして、身近な文書を書芸術として表現できるか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度・提出物 (名前カード・作品)		
	3		<input type="checkbox"/> 自分の考えをしっかりと持てているか。	<input type="checkbox"/> 参加状況・態度・提出物 (名前カード・作品・発表・相互評価プリント)		
	月					
履修にあたって		<input type="checkbox"/> 習字と書道の違いを理解することで、「文字」に対する芸術としての視点、多角的な見方を学んでもらいたい。				
諸経費:1,000 円		<input type="checkbox"/> 手書き文字は生涯、必要不可欠である。そのため、文字を書く事の楽しさを覚えもらうと同時に、手書き文字には自分の心情が表れるということを学んでもらい、手書き文字の大切さを学んでもらいたい。				
印材・カレンダー等						

## 平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	数学II	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択	
対象学年・類型・コース	2年総合学科（選択科目）							
使用教科書	教研出版 新編 数学II 改訂版							
目標とする生徒の将来像	・基礎的な計算力と、基本的な問題解決能力が身についている。 ・数学を利用して、身近な事象を考察する力が身についている。							
評価の観点	・定期考査による評価 80点分 ・授業の取り組む姿勢、課題提出、小テストの結果を総合的に考慮した 20点分							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価			
1 学 期	第1回定期試験	第1章 式と証明 1 整式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 整式の割り算 4 分数式の乗法・除法 5 分数式の加法・減法	(学び直し 復習) ・展開公式、因数分解（たすきがけ）などができる ・多項式の割り算や分数式の計算方法を理解し、結果を等式で表して理解する。	・整式の割り算や分数式の計算などの基本的な計算を理解し、意欲的に問題を解こうとしているかを確認。				
	第2回定期試験	6 恒等式 7 等式の証明 8 不等式の証明 9 相加平均と相乗平均 第2章 複素数と方程式 1 複素数 2 2次方程式の解と判別式 3 解と係数の関係	・恒等式と方程式の違いを理解する。 ・複素数の表記を理解し、四則演算を理解する。 ・多項式 $P(x)$ が $x - k$ で割り切ることを式で表し、高次方程式の因数分解に利用できる。	・恒等式と不等式の区別が理解できているかを確認する。 ・複素数の四則演算の基本的な計算を理解し、意欲的に問題を解こうとしているかを確認。				
	第3回定期試験	4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式の解法 第3章 図形と方程式 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の平行と垂直	・多項式 $P(x)$ が $x - k$ で割り切ることを式で表し、高次方程式の因数分解に利用できる。 ・2直線の平行・垂直条件を理解して活用できる。	高次方程式のなどの基本的な計算を理解し、意欲的に問題を解こうとしているかを確認。 ・座標平面における直線の表し方が理解できているかを確認。				
	第4回定期試験	5 円の方程式 6 円と直線 7 軌跡 8 不等式の表す領域 9 連立不等式と領域	・与えられた条件を満たす円の方程式を理解する。 ・不等式の満たす解が座標平面上の集合として理解できる。	・座標平面における円の表し方が理解できているかを確認。				
	3 学 期	第5回定期試験	第4章 三角関数 1 一般角 2 弧度法 3 三角関数 4 三角関数の性質 5 三角関数のグラフ 6 三角関数を含む方程式と不等式	・弧度法で表された角を理解し、扇形の弧の長さや面積に活用できる。 ・弧度法で表された角の三角関数の値を利用して、グラフやグラフの特徴を相互に理解する。	・三角関数のグラフを積極的に考察し、グラフの特徴が理解できているかを確認。 ・定期試験による学習事項の定着の確認。 ・課題の取り組み状況の確認。			
		検定資格（時期）	数学検定（準2級程度）					
		履修にあたって	・数学に苦手意識を持っている生徒も多いと思います。高校の数学はすべて内容がつながっていますので、しっかりと復習をしておきましょう。特に基本的な計算は訓練をしておくことが大切です。学び直しのプリントを活用して、復習もしていきましょう。 ・3年次も「数学II」は継続して履修します。					

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	英語理解	単位	2	履修区分	履修
対象学年・類型・コース	2年総合学科自由選択				
使用教科書	映画の英語（パソコンソフト）				
目標とする生徒の将来像	英語の文化における知識や考え方、世界の出来事、日本の状況を理解する 基本的な英語を使って、簡単な話を理解したり、聞き取ることができる 基本的な英語を使って、簡単な考えを書いたり、相手に伝えることができる				
評価の観点	①定期試験 ②授業小テスト ③授業活動への参加状況 ④提出物				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学 期	第1回定期試験	・映画の英語 ・外国について調べて発表	・パソコンソフトの映画の英語を聞きながらリスニング力をつける。 ・興味のある国について調べて英語で発表する。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・授業内小テスト ・提出物	
	第2回定期試験	・映画の英語 ・外国の食文化について発表 ・日本の文化について発表	・パソコンソフトの映画の英語を聞きながらリスニング力をつける。 ・テーマについて調べて英語で発表する。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・授業内小テスト ・提出物	
2 学 期	第3回定期試験	・映画の英語 ・沖縄について英語で発表 ・世界遺産について英語で発表	・パソコンソフトの映画の英語を聞きながらリスニング力をつける。 ・テーマについて調べて英語で発表する。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・授業内小テスト ・提出物	
	第4回定期試験	・映画の英語 ・修学旅行について英字新聞にまとめる	・パソコンソフトの映画の英語を聞きながらリスニング力をつける。 ・修学旅行について英字新聞にまとめる。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・授業内小テスト ・提出物	
3 学 期	第5回定期試験	・映画の英語 ・自分の好きなもしくは尊敬する有名人について英語で発表する。 ・1年間の出来事を英字新聞でまとめる。	・パソコンソフトの映画の英語を聞きながらリスニング力をつける。 ・テーマについて調べて英語で発表する。 ・1年間の出来事を英字新聞で発表する。	・定期試験 ・授業活動への参加 ・授業内小テスト ・提出物	
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	実用英語技能検定 年間3回（6月、10月、1月） 3級（3400円）、準2級（4800円）、2級（5400円）			
	履修にあたって	毎時間の授業に、必ず辞書を持参すること。 授業はパソコン室C室で行います。			

## 教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	芸術 クラフトデザイン	単位数	2			
学年・系列・コース	総合学科 2学年					
使用教科書	高校生の美術 I 日本文教出版	副教材				
目標とする生徒の将来像	○幅広い造形活動を通して、生涯にわたりものづくりを愛好する心情を育てる。					
評価の観点	○美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 ○感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ○創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。 ○美術の働きや美術文化、美術作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・評価のポイント	評価方法		
1 学 期	4 月	金工 暮らしの中の「使う」デザイン(84 - 85) ○真鍮スプーン		下絵提出		
	5	鑑賞  型染め 生活を彩る模様 (80 - 81)	・用途を考えて、使いやすさとデザインのバランスを追求する。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。	作品提出 ワークシート提出 発表		
	6	○「○△□」を使ったランチバッグのデザイン 鑑賞	・カタチの面白さを工夫して模様を制作する。 ・技術の習得（型紙の制作、染色） ・作品意図を言葉で伝えることができるか。	作品提出 ワークシート提出 発表		
	7 月					
2 学 期	9	紙すき 色彩(148 - 150)		作品提出		
	10	○牛乳パックからカードをつくる 鑑賞 紙染め	・技術の習得。（厚さを調整） ・色彩バランスを考える。 ・作品意図を言葉で伝えることができるか。	ワークシート提出 発表		
	11	○半紙の折り染め 革細工 イラストレーションの魅力(76 - 77) ○小銭入れのデザイン	・折り方、配色を工夫する。 ・貼り方を工夫する。 ・アイデアスケッチを行い構成を練る。 ・面のつながりを考えてデザインする。			
	12 月					
3 学 期	1			作品提出		
	2		・作品意図を言葉で伝えることができるか。	ワークシート提出		
履修にあたって		・筆記用具、教科書、指示されたものは必ず持ってくる。 ・提出期限は必ず守る。守らないと評価できないため単位がもらえない。 ・授業態度はとてもよく見られているので、大きな声で指導されないからといって油断しない。 ・片付けは、自分の道具だけではなく、作業した場所は必ず掃除する。				
諸費用 : 2,500 円 金工・染色・革細工等材料費						

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・服飾手芸	単位	2	履修区分	必履修 ・ <input checked="" type="radio"/> 選択
対象学年・類型・コース	2年・総合学科				
副教材書	いちばんよくわかる 刺しゅうの基礎 日本ヴォーグ社				
目標とする生徒の将来像	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。				
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】            • 手芸（刺繍）の種類や製作技法について関心をもち、具体的な製作に意欲的にとりくむ態度をもっている。</p> <p>【思考・判断・表現】            • 具体的な製作にあたり、着用目的・着用者の個性・季節などを考え、材質・色・柄や技法・用具について考え、選択し、判断することができる。            • 材質・色・柄などに個人の創意・工夫を表現することができる。</p> <p>【技能】            • 製作の実習に際し、題材に応じた裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得しているとともに、計画に従い能率的に製作を行うううとができる能力を身に附いている。</p> <p>【知識・理解】            • 刺繡の種類と特徴、構成と各部の名称、基本的な知識があり、理解しているか。</p>				
学 期	期間	単元・教材名	主たる目標		評価の観点
1 学 期	第2回定期試験 筆記試験なし	• 手縫いの基礎縫い テディーベア製作	• 手縫いの基本的な知識について理解できる。 • 基礎縫いを使ってテディーベアを製作できる • 布の裁断印付けについても確認		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
2 学 期	第4回定期試験 筆記試験なし	• 刺繡の基礎について（名称） • フランス刺繡基礎縫い • 作品の製作 くるみボタン 巾着作り	• 刺繡の種類と名称について理解する • フランス刺繡の基礎縫いができる • フランス刺繡を使って・デザイン、作品製作ができる。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
3 学 期	第5回定期試験 筆記試験なし	• 編み物について • 基礎編み (カギ・棒)	• 編み物の基礎について学び、基礎編みができる ようにする。		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】
検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	実習材料費 1,500 円程度（徴収予定）				
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>「服飾手芸」では、刺繡を中心に実習を行います。限られた時間内で丁寧に、そしてきれいに仕上がるようになります。評価の対象になります。最後まで諦めず、しっかり仕上げ、提出期限を守りましょう。</li> <li>授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、等から総合的に評価します。</li> </ul>				

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	商業・ビジネスマナー	単位数	2	必履修	必修	選択
学年・系列・コース	2学年 総合学科 自由選択					
使用教科書	社会人常識マナー検定テキスト 2・3級（全国経理教育教会）	副教材				
目標とする生徒の将来像	① 新入社員に求められる、社会人基礎能力の育成を目的とする ② 具体的には、一般基礎知識・ビジネスにおける基礎的マナー・コミュニケーション能力の育成を計る ③ 就職試験での面接にも役立たせたいと考える					
評価の観点	・休まない、遅刻しない等、基本的な姿勢を重視 ・社会人としてのマナーを身につけるとともに、真剣に社会人として生きる覚悟、意識を養う ・新聞を読む、ニュースを積極的に見るなど、社会の動向に目を向ける ・試験も大事だが、積極的な発言やレポートの整理等、授業(つまり仕事)への取り組み姿勢を重視する					
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力		評価の観点		
1 学 期	・社会と組織 ・仕事と成果 ・一般知識 ・ビジネス計算	社会の仕組みや制度、企業の役割を学ぶ。 仕事に取り組む際に求められる心構えを学ぶ。 日本語やビジネス知識など基礎力を養う。 社会人に必要な基礎計算力を身につける。		ノート・発言 テスト 授業態度の観察等		
2 学 期	・ビジネスコミュニケーション ・社会人にふさわしい言葉遣い ・ビジネス文書の活用 ・ビジネスマナー	・ビジネスシーンで、良い人間関係を築くため ・職場や社外で、それぞれの人間関係に応じた話し、聞き方を身につける。 ・ビジネス文書の書き方を習得する。 ・組織の一員としてふさわしい行動や振る舞い方を身につける。 ・来客応対や電話応対など、各種業務に必要なマナーや知識、技術を習得する。		ノート・発言 テスト 授業態度の観察等		
3 学 期	・交際業務 ・業務文書の処理 ・会議の知識	・慶弔やお見舞い、贈り物の心得を身につける。 ・文書の取り扱いを理解する。 ・会議の知識、準備片付け参加のしかたを		ノート・発言 テスト 授業態度の観察等		
検定資格(時期)	社会人常識マナー検定試験3級受験可能（1月第3土曜日）					
諸費用(予定)	授業内容と検定試験用の教材学習で対応できる。冬季休業中と3学期はじめの自主学習が必要 受験料2,300円程度					
履修にあたって	日々変化・進歩しているビジネス社会で働くには、基本的な社会常識やビジネスマナー、優れたコミュニケーション能力が求められている実際の就職活動等にも役立つ内容で進める。資格の取得はもちろんだが、新入社員教育で実際に行われている内容を整理して、できるだけ分かりやすく、様々な場面を想定しながら進めるので、日々の授業に積極的に取り組むことと、新聞やニュース等で社会に積極的に目を向けること。休まない、遅刻しない等、基本的な姿勢、授業に取り組む姿勢や態度を重視する。					